

岐阜大学工業倶楽部 関西支部会報 第6号

第6号会報によせて

関西支部長 藤井 孝友



関西支部会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。
また、平素より当支部の諸活動や行事にご協力とご支援いただき厚く御礼申し上げます。
関西支部会報第6号の発刊に当たり、一言ご挨拶申し上げます。関西支部も発足から6年が経過し、現在、会員数約150名となり、多彩な支部事業の展開や会員相互の親睦の輪の拡大活動などが活発に行えるようになってまいりました。改めて深く感謝申し上げます。

この1年、日本の経済活動を振り返ってみますと、第2次安倍内閣の経済政策、所謂アベノミクスで、ここ10年以上続く日本経済のデフレからの脱却を図るため、金融緩和と物価上昇目標を2%以上にアップするインフレ政策を推進してきました。これらにより、為替相場の円安ドル高が持続し、自動車をはじめとする工業製品の輸出採算が改善され、大手企業の業績が立ち直ったことや原油価格の大幅な値下がりなどにより、日本経済はデフレから脱却しつつあるかのように見えます。しかし、今春のベースアップ闘争の結果や平成29年4月からの消費税率10%へのアップは、経済格差をますます拡大していく結果を招きかねません。また、わが国の公的債務は世界的にみて突出しており、そのつけを将来の子どもや孫たちへ付け回しする懸念もあります。小手先の経済改革では、この困難を乗り越えることはできません。

さて、当関西支部では、昨年に引き続き会員数増大のための「キーマンネットワーク活動」に重点を置いた活動を進めてまいりました。関西に主要な拠点を置く企業、特にメーカー中心に取り組んできましたが、「地域毎・卒業年度毎にネットワークを広げよう」とか、また「官公庁、建築・土木業界をターゲットした活動も併せて進めた方がよい」等の助言を受けました。様々な理由で、当支部の会員数が減少する中でこれを上回る新規会員の新たな参加があり、役員一同大変喜んでおります。

来年度も引き続き、この活動を推進してまいりますので宜しく願います。なお、本年度の関西支部の活動状況につきましては、2015年3月発刊の「岐阜大学工業倶楽部会報35号」に写真付きで詳しく掲載されておりますので、併せてご参照ください。

ご挨拶

岐阜大学工業倶楽部会長 白井 憲義



岐阜大学工業倶楽部関西支部の皆様にはますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。
また、この度の第7回関西支部定期総会の開催を心よりお祝い申し上げます。さらに、会員の皆様には、日頃より工業倶楽部の活動や事業にご協力とご支援を頂いておりますこと厚く御礼申し上げます。
現在、岐阜大学工業倶楽部は会員数26,900人を擁する全国に亘る同窓会組織となっております。
関西支部の皆様には日頃より地域に密着したきめ細かい同窓会活動や同窓の絆の拡大に大きく貢献して頂いておりますこと感謝申し上げます。

今年2015年には、我らの岐阜大学工業倶楽部が70周年を迎えます。発足当初から工業倶楽部は会員皆様のご尽力のもとに、岐阜大学工学部の発展とともに一体感のある支援事業と在学生への支援を進めてまいりました。近年は工学部のグローバル化対応に合わせて国際化支援も重点化し工学部と国際交流学生への支援も進めてまいりました。今年は我らの工業倶楽部においても一つの大きな節目として、秋(11月1日予定)には70周年記念事業を計画致しております。70周年を祝うとともに、岐阜大学および工学部の新たな変革にあわせて、あらためて工業倶楽部の支援事業や活動を再熟考する良い機会でもあると思います。

今後も岐阜大学工業倶楽部は会員皆様の懇親と絆をより深めるために、大学の情報発信に務めるとともに、支部活動の支援や新たな支部の設立にも注力していきます。さらに、岐阜大学の理念実現と工学部の飛躍に向けて、従来から進めています工学部や研究室、在学生への支援や国際交流支援を推進するとともに、学生と社会・産業界を繋ぐパイプ役として、特に学生の育成と就業に関わる支援を積極的に推進いたします。

岐阜大学工業倶楽部関西支部の今後益々のご発展を祈念するとともに、会員の皆様には、我らの学び舎岐阜大学工学部がより一層飛躍出来るよう、工業倶楽部の活動や事業に益々のご協力とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

岐阜大学工業倶楽部関西支部委員会報告

総務委員長 浅沼良行

◇総務委員会◇

1. 第6回定期総会と役員会の開催報告

2014年6月22日、岐阜大学工業倶楽部関西支部第6回定期総会を大阪弥生会館で開催しました。

第1部：総会、第2部：記念講演、第3部：懇親会の構成で、記念講演は岐阜大学工学部副工学部長 野々村修一氏の「太陽光発電の現状と将来像」でした。参加者はご来賓4名、会員43名でした。役員会は2015年3月末までに5回(2014.7/12、10/4、12/6、2015.2/12、3/28)開催しました。



2. 「工専時代の話を聞く会」の開催報告

2014年9月3日に備後町クラブで開催しました。岐阜県立工業専門学校化学工業科を1948年3月に卒業された、石原清氏、柴田五郎氏、村山涼二氏の大先輩の3氏を囲み、戦争末期から戦後の混乱期に学ばれた体験談を伺いました。支部からは藤井支部長他役員6名が参加しました。終戦間近のこの時代、合法的に徴兵を免れるため、技術系の大学や専門学校を卒業して後、技術将校になることが唯一生き残る道であったなど貴重なお話を聞くことができました。



3. キーマンネットワーク活動報告

昨年に引き続き会員数の増加のための「キーマンネットワーク活動」を実施しました。本年度は「企業内キーマンネットワーク」に加え、役員をキーマンとする「同期生ネットワーク」、「地域の絆ネットワーク」と「土木の輪ネットワーク」の3つのネットワーク活動を付け加えて推進しました。3月15日現在の各活動の状況は左表の通りです。

ネットワーク	接触者数	入会者数
企業内キーマンネットワーク	27人	0人
同期生ネットワーク	62人	5人
地域の絆ネットワーク	29人	1人
土木の輪ネットワーク	10人	2人
計	128人	8人

なお、本年、2月に修士・博士課程卒業生(26人)、工業短期大学卒業生(73人)と1962年以前の学部卒業生(126人)を対象にした「往復はがき」を活用した入会勧誘作戦を展開しています。

◇会報編集委員会◇

会報編集委員 菅村 浩

会報編集委員会は、第6号会報の発行とホームページの更新を行いました。ホームページでは、行事の詳細日程の案内や結果を掲載しました。会報については、一年間の関西支部の活動を皆様にわかりやすく、見やすい紙面で編集し、意見交換や情報発信の場となるようにいたしました。

これからも会員相互の情報交換が更に出来るようにホームページの改善を続けて行きたいと思っています。来期も会報とホームページの充実を行ってまいります。

◇名簿編集委員会◇

名簿編集委員長 三戸見 健

2014年名簿編集委員会活動報告

- ・2014. 6. 30 会員名簿 2014. 6. 30 発行 (退会者削除他)
- ・2014. 10. 15 会員名簿 2014. 10. 15 発行 (新入会員追加他)
- ・2015. 1. 4 会員名簿 2015. 1. 4 発行 (新入会員追加他)

○梅田界限噴水めぐり

期日：7/12 開催

参加者：17名

阪急三番街アクアマジックをはじめ、JR大阪駅「水の時計」オープンしたばかりの「グランフロント大阪の滝」を鑑賞しました。

「噴水は芸術、オーナーとデザイナーの激論の成果だ！」特に「水の時計」は有名なロンドンの「ビックベン」と並び賞される「世界の美しい時計12選」に選ばれました。

(株式会社 光栄 設計施工)



「水の時計」

○第5回ゴルフコンペ

期日：10/8 開催

参加者：14名 (1964年工業化学科卒の39会様と西濃支部重鎮合同)

当日は写真の如く晴天、皆さんの笑顔がうれしい！さて成績は？・・・

優勝：塚口 義清氏 準優勝：杉本 武氏 (西濃支部長)



スタート前は、「全員元気」



プレー後に、「笑顔が輝く人は？」

○(株)ダイフクメガソーラー「日に新た館」

見学会&永源寺の紅葉狩り

期日：11/22 開催

参加者：18名

「日に新た館」では、実物の動くマテハン設備見学 再生可能エネルギーのTop太陽光発電は、天候の変動で発電力が変動するのを体験しました。

臨済宗永源寺派の大本山永源寺は、南北朝時代に開基され、紅葉の名所と謳われています。

当日は、快晴に恵まれ全盛の紅葉を堪能しました。

名物の「こんにゃく刺身」も賞味しました。



メガソーラー



永源寺山門前の紅葉



日に新た館で記念撮影

凛真奈の思い出と囲碁

川那邊 修（土木工学科 1975 年卒）

昭和 44 年 4 月。片田舎から初めて親離れして住むこととなった凛真奈。近くの農家でリヤカーを借り、国鉄の駅まで受け取りに行った古い机と椅子。4 歳年上で仙人のような同部屋の先輩。新入寮生の歓迎コンパで無理やり飲まされた酒。翌未明に叩き起こされパンツ一丁で那加町をデモ行進。井桁に組んだ線路枕木の炎を囲む朝靄の式典。多数の革マル派と少数の中核派。独特な抑揚のアジテーション。くわえタバコの徹夜マージャン徹夜囲碁。朝夕豪華？2 食付きで寮費月 2 千円。目を閉じると当時の懐かしい思い出が断片的に、かつ鮮明に浮かんでくる。凛真奈では、酒、たばこ、マージャン、パチンコ、囲碁などを先輩から一通り教えてもらったが、今でも飽きずに続けているのは酒と囲碁である。囲碁は、卒業後 3 7 年間勤めた職場では時々という程度。4 年前に退職してからは、少しでも強くなりたいという願いを込めてかなり力を注いでいる。地元囲碁クラブで今まで全く知らなかった人と「手談」を楽しむ、そのような洒落た遊びもできるようになった。囲碁は、測りしれない奥の深さと玄妙な味わいをもち、古い伝統文化でありながら今でも進化しているところが魅力といえる。



〈女子プロに指導碁を受ける筆者〉

私のボランティア活動「おもちゃを修理して 40 年」

福岡 悟（土木工学科 1963 年卒）

私は宝塚おもちゃ診療所の医師(?)としてボランティア活動を続けており、昨年で 40 年を超えた。当時私は宝塚市に住んでおり主催者の宝塚市の広報誌で募集があった。中高生のころからラジオ工作が好きで、修理には多少の自信はあり早速応募して採用され、以来第 1 回目から今日に至るまで続けている。当時は 35 才であったから人生の半分以上を続けてきたことになる。1996 年には兵庫県知事から人々に幸せを与え心豊かな郷土づくりに貢献した、として「こうのとり賞」を頂いた。宝塚おもちゃの診療所は、修理費も無料であり交換部品が必要であれば実費を頂く。修理スタッフも修理用具もなかなか充実しており、毎月第 1 日曜日に午後 1 時から開催しており、修理に来られる人は地元の宝塚市は勿論、近隣の各市などから来る人も多く人気も高いようである。これまでに皆で述べ 2 万個以上の修理をした。



〈おもちゃの診療所修理風景〉

修理スタッフは当初の 5 人から、現在は 15 人位いる。当初は若い人も多かったが、いまは定年退職者の応募者が多く、高齢であるが修理の腕は達者な人が多い。スタッフの入れ替わりも多く、発足当時からメンバーは今では私だけになった。長期継続というのはなかなか難しいようである。修理に持ち込まれるおもちゃの生産国も当初の日本からやがて香港、タイ、インドネシアと移り、殆どが中国製となり、現在ではこれにベトナムが混ざりようになった。販売元も殆ど日本の大手玩具メーカーであったが、今では中国メーカーのものも多くなった。修理していて残念なのは、おもちゃの部材をもう少し丈夫なものにしてくれたら壊れずに済んだと思われることで、コストを下げるために必要な強度が無いものも多い。さて、最近では寄る年波には勝てず、自分ながら修理の腕が落ちたことがわかりそろそろ引退時であると思っている。

名簿管理委員会からのお願い

“入会申込書”でお届け戴きました、会員各位の個人情報は、①会員各位への情報発信として、②会員相互の連携を計って戴く為の中継的役割として、支部活動を円滑に進める為に重要なツールとなっております。その為には、たえず生きた個人情報を把握しておく事が必要となります。お届け戴いている各位の情報は、変更が生じた時、また新規に設定された時、お手数ですが、事務局までご連絡戴くようお願い致します。特に、電子メールでの情報提供を優先にしておりますので、メールアドレスを變更新たに取得された時は、お忘れなくご連絡、登録戴きますようお願い致します。今後も各位の情報の管理には万全を期し、支部活動にのみ活用させていただきます。

ご連絡、お問い合わせ：

岐阜大学工業倶楽部関西支部 事務局長 阪上丈一
〒554-0012 大阪市西区立売 1 丁目 4 番 9 号中井産業ビル 4F
TEL:06-6543-6186.Fax:06-6543-6186,E-mail:gidai@koeiaquatec.co.jp

岐阜大学工業倶楽部関西支部
発行人 支部長 藤井 孝友
編集人 会報編集委員会 委員長 木内 尚之
担当 菅村 浩、川那邊 修